



県大会団体戦初優勝 インターハイ出場が決定 池新田高校剣道部

令和元年度静岡県高等学校総合体育大会剣道競技および全国・東海高等学校総合体育大会剣道競技静岡県予選会

- 2回戦 ○池新田 (4勝7本) — ×日大三島 (0勝0本)
3回戦 ○池新田 (2勝4本) — ×浜松学院 (0勝0本)
準決勝 ○池新田 (2勝3本) — ×浜名 (2勝2本)
決勝戦 ○池新田 (2勝5本) — ×東海大翔洋 (1勝4本)



団体戦で県大会初優勝を飾る

静岡県武道館で「令和元年度静岡県高等学校総合体育大会剣道競技および全国・東海高等学校総合体育大会剣道競技静岡県予選会」が6月1日(土)、2日(日)に実施され、池新田高等学校剣道部が男子団体戦で見事優勝した。同部は8月3日(土)から熊本県立総合体育館で開かれるインターハイへ出場する。菊池竜平監督は、「生徒たちの努力が実を結んでくれてよかった」と目に涙を浮かべた。

部員2人からのスタート

菊池監督は同校剣道部で指導を始めて6年目。現在部員は男女合わせて24人になるが、着任当初は新1年生の2人しかいなかったという。それでも2人の新入生に対して「日本一になるぞ」と言い続けた。そんな監督の熱意や指導力に引かれ、市内だけでなく遠方からも生徒が入学するようになった。順調に部活動を指導する中で、退部を希望する生徒が出るなどの危機もあったが、その都度、指導法を見つめ直したという。監督

と部員が二人三脚で同じ夢を追い続けた結果、平成29年に全国高等学校剣道選抜大会に出場。この全国大会出場は池新田高校の歴史で初の快挙だった。その一方で菊池監督は「出場が決まってしまうと本当に勝てるのだろうか」と考えていたという。案の定、初の全国の舞台では敗戦を喫した。「このままではだめだ」と一念発起し、全国で戦うことを見据えて稽古をするようになった。

県優勝はあくまで通過点

池新田高校剣道部は多くの人に支えられている部活だ。父母会や保護者会、時間を見つけて指導に来てくれるOB、下宿先に食事を提供してくれる料理店など多岐にわたる。周りへの感謝を忘れず一生懸命稽古に励む部員の姿があるからこそ支援してくれるのだろう。

「県大会優勝はあくまで通過点。全国で戦う準備はすでにできている」と話す菊池監督。心技体が備わった同校剣道部が、2度目となる全国の舞台で活躍することを期待したい。